

居合道だより

令和6年9月

第218号





はじめに

粕屋居合道同好会 世利 慎吾

今回は、我が粕屋居合道同好会の近況についてお話をさせていただきます。
晩夏とはいえ茹だるような暑さが続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

年々気温が上がり30度越えがあたりまえという毎日。ここ10年程前から35度を超える猛暑日が異常に増えてきているという報告もあります。
夏虫の代名詞でもある蝉も暑くてたまらず、昼間は木陰で涼んでいるのか鳴きをひそめているようです。それに引き換え、我が家のクーラーは一日フル稼働、朝から蝉の代わりに唸り声をあげています。

そんな中、暑い暑いと悲鳴を上げながらも稽古に来ている会員の方達に、暑い中で稽古をする意義について考えてもらおうかと、少々時季外れではあ

りますが暑中稽古への取り組みについて、暑さのせいかな年のせいかな回らない頭で考えているところです。

昔から、神社に素足で参詣する寒参り、寒詣、^{みそぎはらえ みずごり}襦袢や水垢離といった難行苦行や思想また方法といったものが一体化し、武道などにおいて修行法が形成されていったと言われています。

寒稽古や暑中稽古といったものは、寒さや暑さに対して逃避するのではなく、積極的に行うことによって寒暑二つに安住するという考えは、禅語の（寒は寒殺、暑は熱殺）に通じるものがあるという考え方から、武道において現在も行われている稽古法の一つであります。

よし今日は稽古日、思いついた話を反芻しながら稽古衣に着替え外に出ると夜とはいえ茹だるような暑さ、思いとは裏腹に気が減入ってしまう。

このような時こそ暑中稽古の話をし、意気を挙げてもらわなければと思い道場に向かうと、今日は何々さんと、何々さんは体調が悪くお休みです。まいったなー、出鼻をくじかれた感である。

我が粕屋居合道同好会は高齢者が多く、65歳から94歳までの方々が14名中8名、この暑い中、道場に来て稽古に励んでおられます。暑中稽古の話は、まっいいか。今度にしよう。

皆さん今日も暑いので無理をしないように、クーラーをつけて下さーい。難行苦行の話より、「好きこそものの上手なれ」稽古を楽しみに来ていることが大事。「一に健康、二にクーラー」これが我が会の現状です。皆さんの道場はいかがでしょうか。

六段昇段にあたって



伯正会浮羽道場 田邊 道子

はじめに、この度の昇段が多くの方のお力添えによるものであったと、心より感謝申し上げます。

2011年3月に私が五段に昇段した頃、それまでご指導いただいた江口先生が引退。以降伯正会は指導者不在のまま4名で稽古を続けていましたが、道場では皆「昇段」を目標としなくなっていました。

そんな状況が10年以上続いていた頃、福岡県剣道連盟居合道部で強化委員会の方が道場に指導に来ていただけるとの情報を得て申し込み、早速指導いただきました。大勢で受ける稽古会とは違う久しぶりの指導に道場の皆の気持ちも変化、やはり「やるからには上手くなりたい、試合に勝ちたい、昇段したいと。更に行橋の七段佐藤先生から「刀の持ち方が違う」と指摘を受けたことをきっかけに指導いただけるチャンスを得ました。

指導を受けたことは忘れないうちにノートに記入、1本目だけで2ページにもなることもありましたが、10年以上指導らしい指導を受けていなかった私には指導を受けることが嬉しくて楽しくて。そんなことがあり、6月28日13年ぶりの昇段審査に挑みました。

審査当日、床の感じは前日準備で確認済み、設営に参加したことも功を奏し、会場の雰囲気にも飲まれることもなく、平常心で順番を待つことができました。それは開始線の前に立っても持続し、そのまま制限時間を越えることもなく、無事終了しました。

始まるまでは緊張して足が震えることを覚悟していましたが、平常心を保てたことはこれまで多くの先生に指導していただいた事が私の自信になっていたのではないかと思います。

今回六段に昇段できた際、予想外に多くの方から「おめでとう」の言葉をいただいたことで六段の重みと、みられる側になったのだと実感しました。これからさらに稽古を積みつ段位に恥じない様精進してまいります。

最後に、もう叶いませんが、この六段昇段を江口先生に伝えたかった。先生はきっと

「よくやった」

と、ほほ笑んでくれたはず……

六段昇段に際して

糸島錬心館 アルノー・マカドレ

2024年6月28日に福岡県久留米市で行われた居合道昇段審査会にて六段へ昇段させていただきました。指導して下さった先生方、先輩方、道場の門人と一緒に受審した人たちに心より感謝いたします。そして支援してくれた家族にも感謝しております。

五段の昇段のころ、仕事の関係で引っ越すことになって、長い期間続けてきた稽古のリズムが急に変わって、正直に言うと、油断してしまいました。時間がたって、「あ、六段審査を受けられる」と気づいたにも関わらず、存分に稽古しませんでした。その結果、京都での審査会の際に、見事に落ちました。次の審査会が福岡県で開催されることで、「今回こそ」と合格を目指して稽古の頻度を増やしました。体さばきと刀の抜き方・振り刀もちろんですが、それより間合いと速さを整えるよう指導されました。いつも一人稽古で、ゆっくりできたと感じて、時計を見たら、なんと5分もたっていなかったのです。なぜか、感じる速さと実際の速さがあまりにも違っていて、先生や先輩に「アルノー君早すぎるよ」と言われて稽古を続けて、決めを入れて静と動のある技をどうにか身に付けようと思いました。

今回審査会場では、着替える場所に加えて、稽古できる場も準備して下さった配慮のおかげで、審査前に一度汗を流して、考えすぎないように刀を振りました。受審者の中でも、同級生など知り合いがいて、皆緊張しても頑張ってるねと思い、少し落ち着きました。

そしていよいよメインアリーナへ移動して、年少のため最後に演武することでした。手のひらが汗でべたべたして刀を抜けるか、滑るか、また水分がたりるか、お手洗いに行こうかなどのとんでもないことが気になって、演武の一本目と最後の刀礼しか覚えていません(ダメだとずっと感じていました)。最後まで落ちたと思っていたのですが、昇段させていただきました。福岡県の先生方と先輩方が暖かくお祝いのことばを言って下さって、師匠が今後の注意点を教えてくださいました。

ということで、自分の話ばかりですが、また今度から初心者のように先生に言われた点などを磨いていきます。もう一度、指導して下さった先生方と先輩方、一緒に汗を流した方に心から感謝しております。





稽古会での一コマ

今年も少年少女を含めたくさんの仲間が増えてきております。

諸先輩方、いつも丁寧で優しい指導をありがとうございます。

普段の様子がわかるようなワンショットでした。



8月4日 小川内先生の八段昇段祝賀会が行われました。

9月 10月の予定

9月 1日(日)	福岡県居合道段位審査会	福剣連	福岡武道館
22日(日)	福岡県居合道伝達講習会	福剣連	福岡武道館
10月 19日(日)	第49回全日本居合道大会	全剣連	東京都

編集後記

巨大台風がさり、急に暑さが戻ってきたら蝉が号泣して（そんなに泣かんでも……）一気に暑さが増した今日この頃でございますが、みなさんお元気で過ごされていますか？「暑い寒いの言うんじゃありません！」と叱られそうですが、優しく言えば指導で鬼の形相で言うと「パワハラ」と、何とも難しい判断に迫られますが、それでも指導する方はヤキモキしながら、この出版日の9/1の審査会に受審者と共に取り組んでおります。

さて、居合道初心者体験教室の募集も中盤を迎え、申込期間あと1ヶ月、現在14名ほど応募があり広報委員も今まで以上に走り回っております。

習うにしてもいろいろ難しい状態もあるでしょう。広報委員会としては全力でサポートしておりますので、何かございましたらお気軽にご相談ください。



8月の稽古会ではちびっこ居合道剣士も数名集まり、楽しく稽古していた様です。

他の教室生も遠慮なくどんどん参加してくださいね。わからない時は広報高津（コウヅ）まで遠慮なくご

連絡くださいね。(kozu@fewinc.jp)



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第218号 令和6年9月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW